

誠之の教育

12月号（第644号）
令和6年11月30日発行
文京区立誠之小学校

音楽は言葉を超える

校長 土屋 秀人

昔、私が6年生の担任であったころ、社会科の公民の学習で、勤めていた学校の近くの老人ホームに子供たちを連れていったことがあります。事前に職員の方と打ち合わせをする中で、「ぜひ訪れた子供たちに出し物として歌を歌ってもらえないか」との申し出がありました。急な話でもあり丁重にお断りをしようとも思いましたが、せっかくのお話でしたので2曲ほど童謡をクラスで練習し臨みました。子供たちは、準備の時間がほとんどなかったため、うまく仕上げることができないまでも、訪問の感謝の気持ちを一生懸命伝えようと頑張って練習していました。当日の歌、正直あまりうまくいかなかったかなとも思いましたが、聴いていた高齢者の方は、じっと目を凝らし真剣に聴き入り、たくさんの方が涙すら浮かべて心から喜んでくれました。この時、音楽で伝えられるものは、技術ではなく心であると改めて感じました。

音楽は、国境や文化、言語の壁を超えて人々をつなぐ力を持っています。一つのメロディーやリズムが、異なる言語を話す人々の心に同じ感動を与えるのは、音楽が普遍的な感情を表現する手段だからです。たとえば、悲しみや喜び、希望といった感情は、言葉で説明することが難しい場合があります。しかし、音楽はそれらの感情を直接心に届け、言葉を超えた共感を生み出します。また、音楽は個人の記憶や体験と結びつき、時には言葉以上に深く人々を励ましたり癒したりします。

音楽は、人間の内面に響く「共通の言語」であり、私たちが共有する最も美しい文化の一つです。音楽が持つこの力こそが、言葉を超えた真のコミュニケーションとも言えるでしょう。

さて、誠之小学校は令和6年11月30日に、3年ぶりに音楽会（保護者鑑賞日）を開催します。子供たちがどのようなメッセージを表現するのか、とても楽しみにしています。

「アウトメディアチャレンジ」を終えて

情報教育担当 齋藤 貴紀

10月に行いました「アウトメディアチャレンジ」の取組では、保護者の皆様に多大なるご協力をいただき、ありがとうございました。子どもたちの取組を家族全体で支援していただいたことに、あらためて感謝申し上げます。

メディアのある生活により私たちの生活が快適になり、楽しく便利になっている反面、健康面の悪影響やSNS等のトラブルもあり、家庭や学校が子どもたちのサポートをしていく必要があります。学校でも引き続き、教科等の学習で活用していくとともに、情報モラル教育も行っていきます。

3学期にもう一度、「アウトメディアチャレンジ」の期間を予定しています。家庭と学校とが協力しながら子ども達のメディアとの関わりに目を向ける機会となればと思います。今後ともよろしくお願いします。

1年生

大好きな本を読む時間が増えて、とても楽しかったです。
思っていたよりも、大変でした。
テレビ以外にも楽しい時間が過ごせました。

2年生

これからも続けられそう。
アウトメディアをやったら勉強がはかどりました。
テレビを見る時間を決めると、いろいろな遊びができて、新しい遊びを見つけることができました。
ゲームの時間を制限するのは難しかったけど、お手伝いをするのは楽しかったです。

3年生

今回目標を決めたから、しっかりできました。やっぱり目標は大事だなと思いました。
アウトメディアはいやだったけど、やってみると意外と楽しかった。
ゲームがなくても楽しい遊びがたくさんあるので、目をなるべく休めたり、外で遊んだりしようと思いました。
暇な時間にお手伝いが少しできるようになりました。

4年生

散歩や家族と話すなどの時間が増えて、とてもよかったです。
これからも使う時間を減らしたいと思いました。そして、へらした時間で自分の苦手なことなどいろいろなことをやってみたいです。
読書の時間が増えたことによって、おもしろい本が見つかってよかった。

5年生

アウトメディアできた日は、勉強の時間が増えたことを実感できて、とても嬉しかったので、これからも頑張りたいと思いました。
気分が一週間明るかったです。これから一か月くらい続けてみようと思います。
一週間もテレビを見られないのがつらいと感じたので、生活習慣を見直してみようと思います。
ゲームを1日何分までにするという目標を立てる前は、時間をあまり気にせずやっていたけど、決めることでじめがついたので、続けたいと思いました。

6年生

いつも食事中などずっとテレビを見ていたが、テレビを見ないことでごはんを味わって食べるようになり、家族と話すようになった。
ずっと長い時間ゲームなどをしていたので、かんたんにはアウトメディアはできなかった。
あえて使わないことで、普段どれだけたよっているのが分かった。

誠之小学校の委員会活動

委員会活動では、5・6年生の児童が11の委員会に分かれて様々な活動をし、学校生活を支えています。学校全体のことに取り組んでいる高学年の姿勢は、下級生にとってよい手本となり、伝統として引き継がれていきます。

計画委員会

計画委員会は、みなさんがより良い学校生活を送れるように日々努力しています。運動会や音楽会のスローガン、150周年のキャラクターの募集決定などは、みなさんの意見を反映し行っています。

放送委員会

放送委員会では、全校朝会でマイクの調整や校歌を流す仕事や、給食時のお昼の放送を流す仕事をしています。より楽しい時間になるために、新しい放送を目指しています。

図書委員会

図書委員会では、休み時間に本の貸し出しをしています。他にも、読書スタンプラリーなどのイベントをしたり、図書館マップを作ったりしました。本を好きになってもらえるように日々努力しています。

給食委員会

給食委員会では、栄養黒板の掲示や給食に関する放送をしています。今年度は、給食集会やアンケート給食も実施しました。これからも給食のよさをもっとみなさんに知ってもらうために活動していきます。

保健委員会

保健委員会では、全校のみなさんが毎日健康に生活できるように、換気チェックや石けんの補充を行っています。また、健康の意識を高めてもらうために、動画やポスター作成などにはげんでいます。

飼育・栽培委員会

飼育・栽培委員会では、メダカ・グッピーを飼っていましたが、10月からウサギを飼い始めました！皆さんに生き物に楽しんでもらえるように、毎日心を込めてお世話をしたり、水槽の掃除をしたりしています。

掲示委員会

掲示委員会は、イベントに合わせて、運動会や音楽会のかざりなどを作っています。1つ1つのかざりに一人一人の思いがこもっているの、見るだけで笑顔になれます。学校を楽しくさせたいです。

整美委員会

整美委員会では、各学級から集まったりサイクル用紙の分別をしています。また、校内の美化に努め、学校生活がより快適になるように話し合いをしています。今後は、話し合った内容を実現していきます。

集会委員会

集会委員会では、月に数回、朝の時間に児童集会を行っています。委員会で話し合い、全校児童が楽しめるような「〇×ゲーム」や「猛獣狩りに行こうよ」などのお楽しみ集会を企画しています。

運動委員会

運動委員会では、校庭と体育館の倉庫の整備をする常時活動と全校の人が楽しく運動できるイベントの計画を行っています。みんなが運動を好きになるようにこれからも協力して頑張っています。

ボランティア委員会

ボランティア委員会は、学校や世界中の困っている人たちに貢献する委員会です。例えば、ベルマーク回収や募金活動への協力を呼びかけるための動画やポスターを作ったり、放送をしたりしています。



12月の行事予定



12月の生活目標 『整理整頓をしよう』

日	曜	行 事	こどもひろば
1	日		
2	月	振替休業日	
3	火	短縮時程 全校朝会	
4	水	長なわ集会(1・2・3年生)	
5	木	安全指導 長なわ集会(4・5・6年生) わくわく班活動 がん教育の推進(6年生)	
6	金		
7	土		○
8	日		
9	月	全校朝会	
10	火	社会科見学(6年生)	
11	水	脊柱側弯症検査(5年生・6年生対象者) 委員会活動 校内研究授業(5年2組)	
12	木	歯科講話(1年生)	
13	金	邦楽教室(5・6年生) 委員会活動	
14	土		○
15	日		
16	月	個別懇談① 短縮時程	
17	火	個別懇談② 短縮時程	
18	水	クラブ活動	
19	木	個別懇談③ 短縮時程 児童集会 バリアフリーに関する出前授業(4年生)	
20	金	個別懇談④ 短縮時程	
21	土		○
22	日		○
23	月	個別懇談⑤ 短縮時程	
24	火	個別懇談⑥ 短縮時程 給食終	
25	水	大掃除 終業式	
26	木	冬季休業日始	
27	金		
28	土		
29	日		
30	月		
31	火		
1/1	水	元日	
2	木		
3	金		
4	土		
5	日		
6	月		
7	火	冬季休業日終	
8	水	始業式	
9	木	給食始	
10	金	安全指導 狂言鑑賞教室(6年)	

※今月の避難訓練は、予告なしで行います。

【うさぎの名前は『うーたん』に決まりました】

10月より飼育を始めた子うさぎが、元気にすくすくと育っています。飼育栽培委員会の児童たちが、毎日欠かさず、一生懸命にお世話をしています。休み時間になると、低学年の児童たちも興味津々の様子で、うさぎを観察したり、お世話をするお兄さん・お姉さんの姿を見たりしています。

